

※本資料は、今後の当局（IASB・FASB・ASBJ等）の動向、方針、制度に対する弊社の見解を示す資料であり、その内容の正確性または完全性を、（明示的にも暗示的にも）表明あるいは保証するものではありません。

第20号

Jul-2014

## IASBがプロジェクト計画を更新(2014年6月)

IASB(国際会計基準審議会)は、2014年6月24日に、プロジェクトの作業計画を更新しました。  
以下は、金融商品に関する主なプロジェクトを前回(2014年5月)までの更新内容と比較した表です。

プロジェクト	公表物等	前回までの作業計画 (2014年5月)	更新後の作業計画	コメント
分類と測定 (限定的な改善)	最終基準書	2014年Q2	2014年Q3	「分類と測定」に関し、限定的な改善の検討の公開草案を開示しています。2013年3月末にコメント受付が終了しており、再審議中です。今回、最終基準を2014年Q3に公表予定へ修正されました。
減損	最終基準書	2014年Q2	2014年Q3	2013年3月に再公開草案が開示され、現在コメントに対する再審議中です。今回、最終基準化される日程を2014年Q3に修正されました。なお、2014年6月23日には金融商品の減損に関する移行リソースグループの創設が発表されています。
一般的なヘッジ会計	最終基準書	2013年11月 公表済み	-	最終基準書が2013年11月に基準書化されています。弊社では、基準書化を受け、対応方針を検討中です。
マクロヘッジ会計	ディスカッション ペーパー	2014年4月 公表済み	-	2014年4月17日にディスカッションペーパーが公表されました。コメント期限は2014年10月17日となっております。なおマクロヘッジは現在、XNETの開発計画には入っていません。対応が必要な場合は、弊社担当CEにご相談ください。
概念 フレームワーク	再審議	2014年Q1~Q3	2014年Q1~Q3	概念フレームワークのディスカッションペーパーが2013年7月に公表されました。2014年1月14日まで、コメント募集期間でした。IFRSの財務諸表のあり方のベースが議論されます。この中にはOCIの表記やリサイクリングも含まれています。

※1本資料は、IASBのプロジェクト計画表を基にXNETにて編集しております。  
※2上記スケジュールのQ及びHは、1月スタートを基準とした四半期、半期を指しています。